

回 覧

平成25年2月5日
新火葬場建設検討委員会資料2

平成25年2月1日

大藪町第5町内会の皆様へ

多治見市長 古川 雅典
(環境文化部 環境課扱い)

新火葬場建設地環境調査（秋季調査）結果のお知らせ

日頃は、多治見市環境行政にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。
新火葬場建設地周辺の環境調査の実施にあたり、秋季の調査（大気・騒音振動・水質・交通量・動植物（鳥類、ほ乳類、魚類、は虫類、昆虫類、植物））を実施しましたので、別紙のとおり調査結果をお知らせいたします。

1、業務内容及び実施期間

【環境秋季調査】

調査の種類	調 査 期 間
大気質調査 騒音振動調査 水質調査 交通量調査 動植物調査	平成24年10月22日（月）～平成24年11月30日（金） ※測定機器を設置する大気質調査等は、11月5日（月）～ 11月18日（日）に実施。 ※交通量調査については、期間中の休日と平日の各1日に24時間 調査を実施。

※調査結果の詳細、不明な点等につきましては、下記担当者までお尋ねください。

問い合わせ先
多治見市役所 環境文化部環境課
廃棄物対策グループ 担当者：市川
電話 0572-22-1111（内線1335）
FAX 0572-25-8222

多治見市 新火葬場建設に伴う環境調査結果の概要（秋季調査）

- 1 調査期間・・・平成24年11月5日～11月18日の期間に実施しました。
- 2 調査場所・・・図1に示す調査場所で実施しました。

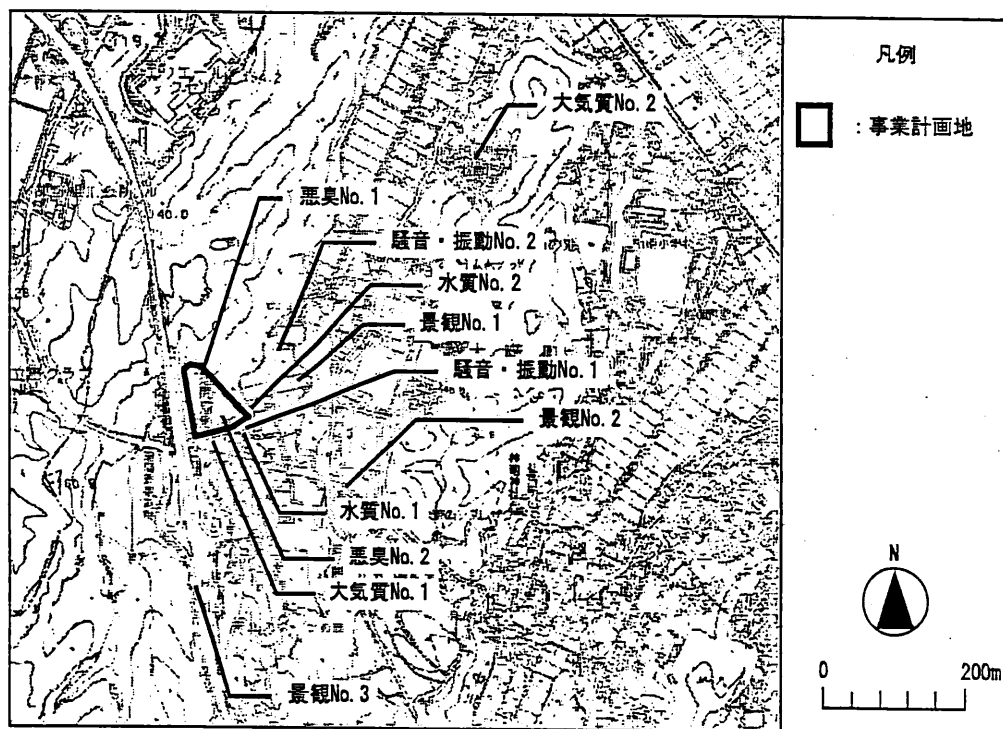


図1 調査地点図

3 調査結果

(1) 大気質・・・各調査地点における大気質調査結果は、表1に示すとおりでした。

表1(1) 大気質調査結果 (No.1: ライスセンター)

調査季		冬季(2月)	春季(5月)	夏季(7・8月)	秋季(11月)	環境基準
二酸化硫黄	日平均値の最高 (ppm)	0.003	0.007	0.009	0.003	0.04 以下
	1時間値の最高 (ppm)	0.011	0.014	0.018	0.009	0.1 以下
二酸化窒素	日平均値の最高 (ppm)	0.018	0.027	0.012	0.016	0.04～0.06 のゾーン 内又はそれ以下
浮遊粒子状物質	日平均値の最高 (mg/m ³)	0.011	0.050	0.021	0.025	0.1 以下
	1時間値の最高 (mg/m ³)	0.029	0.092	0.050	0.104	0.2 以下
塩化水素	日平均値の最高 (ppm)	0.005 未満				-
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)		0.012	0.021	0.019	0.025	0.6 以下

表1(2) 大気質調査結果 (No.2: 集会所)

調査季		冬季(2月)	春季(5月)	夏季(7・8月)	秋季(11月)	環境基準
二酸化硫黄	日平均値の最高 (ppm)	0.003	0.009	0.007	0.003	0.04 以下
	1時間値の最高 (ppm)	0.005	0.019	0.016	0.007	0.1 以下
二酸化窒素	日平均値の最高 (ppm)	0.018	0.022	0.009	0.023	0.04～0.06 のゾーン 内又はそれ以下
浮遊粒子状物質	日平均値の最高 (mg/m ³)	0.024	0.052	0.028	0.028	0.1 以下
	1時間値の最高 (mg/m ³)	0.050	0.109	0.090	0.138	0.2 以下
塩化水素	日平均値の最高 (ppm)	0.005 未満				-
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)		0.014	0.020	0.020	0.026	0.6 以下

(2) 騒音・振動・・・各調査地点における騒音・振動調査結果は、表 2 に示すとおりでした。

表 2 (1) 一般環境騒音・振動調査結果 (No.1: 計画地)

調査季		冬季 (2 月)		春季 (5 月)		夏季 (7・8 月)		秋季 (11 月)		環境基準 (B 類型)
調査日*		平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日	
騒音レベル (dB) [等価騒音レベル]	昼間 (6～22 時)	49.0	44.8	50.1	45.7	62.9	61.7	48.7	49.7	55 以下
	夜間 (22～翌 6 時)	41.7	41.9	44.5	43.5	57.0	52.2	42.9	44.0	45 以下
振動レベル (dB) [80%レンジ上端値]	昼間 (8～19 時)	30 未満								-
	夜間 (19～翌 8 時)	30 未満								-

※ 夏季調査時にはセミ等の鳴き声の影響が大きかった。

表 2 (2) 一般環境騒音・振動調査結果 (No.2: 住居前)

調査季		冬季 (2 月)		春季 (5 月)		夏季 (7・8 月)		秋季 (11 月)		環境基準 (B 類型)
調査日*		平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日	
騒音レベル (dB) [等価騒音レベル]	昼間 (6～22 時)	50.0	46.0	48.0	47.8	58.9	60.3	48.1	47.6	55 以下
	夜間 (22～翌 6 時)	41.2	42.1	42.7	42.4	52.0	50.5	42.0	43.6	45 以下
振動レベル (dB) [80%レンジ上端値]	昼間 (8～19 時)	30 未満								-
	夜間 (19～翌 8 時)	30 未満								-

※ 夏季調査時にはセミ等の鳴き声の影響が大きかった。

表 2 (3) 道路沿道騒音・振動調査結果 (No.1)

調査地点		県道 113 号		環境基準 (B 類型)
調査日*		平日	休日	
騒音レベル (dB) [等価騒音レベル]	昼間 (6～22 時)	64.0	62.6	55 以下
	夜間 (22～翌 6 時)	56.7	56.6	45 以下
振動レベル (dB) [80%レンジ上端値]	昼間 (8～19 時)	30 未満	30 未満	-
	夜間 (19～翌 8 時)	30 未満	30 未満	-

表 2 (4) 道路沿道騒音・振動調査結果 (No.2)

調査地点		国道 248 号		環境基準 (B 類型)
調査日*		平日	休日	
騒音レベル (dB) [等価騒音レベル]	昼間 (6～22 時)	68.5	69.9	55 以下
	夜間 (22～翌 6 時)	64.3	65.6	45 以下
振動レベル (dB) [80%レンジ上端値]	昼間 (8～19 時)	34.8	30 未満	-
	夜間 (19～翌 8 時)	30 未満	30 未満	-

(3) 水質・・・各調査地点における水質調査結果は、表3に示すとおりでした。

表3 (1) 水質調査結果

項目	No.1 (上流)				環境基準*
	冬季 (2月)	春季 (5月)	夏季 (7・8月)	秋季 (11月)	
水温 (°C)	3.0	18.5	21.5	14.0	-
濁度 (度)	0.9	0.7	0.5 未満	0.5 未満	-
色度 (度)	1	2	2	1 未満	-
流量 (m³/s)	0.011	0.013	0.006	0.007	-
水素イオン濃度 (pH)	6.9	6.0	6.2	6.1	6.5～8.5
生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.6	3 以下
化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	1.2	1.4	1.2	0.7	-
浮遊物質 (SS) (mg/L)	3	1	1 未満	1 未満	25 以下
溶存酸素量 (DO) (mg/L)	10	8.9	8.6	9.6	5 以上
大腸菌群数 (MPN/100ml)	920	3,500	16,000	2,400	5,000 未満
ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/L)	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	-
全窒素 (mg/L)	0.56	0.38	0.25	0.25	-
全リン (mg/L)	0.016	0.009	0.012	0.024	-
フェノール類 (mg/L)	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	-
銅 (mg/L)	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	-
全亜鉛 (mg/L)	0.02	0.02 未満	0.02 未満	0.02	0.03 以下
溶解性鉄 (mg/L)	0.04	0.02	0.08	0.03	-
溶解性マンガン (mg/L)	0.02 未満	0.03	0.02	0.03	-
全クロム (mg/L)	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	-

※1 下流の可児川が指定されている B 類型の環境基準

※2 夏季の大腸菌群数は上下流域共に基準を超過した。要因として動物類の活動が活発化し、排出物が増加したことによるものと考えられる。

表3 (2) 水質調査結果

項目	No.2 (下流)				環境基準*
	冬季 (2月)	春季 (5月)	夏季 (7・8月)	秋季 (11月)	
水温 (°C)	7.5	18.5	20.5	14.0	-
濁度 (度)	0.9	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	-
色度 (度)	1	2	2	1 未満	-
流量 (m³/s)	0.008	0.006	0.007	0.007	-
水素イオン濃度 (pH)	6.9	6.0	6.2	6.1	6.5～8.5
生物化学的酸素要求量 (BOD) (mg/L)	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	3 以下
化学的酸素要求量 (COD) (mg/L)	1.5	1.1	1.2	0.8	-
浮遊物質 (SS) (mg/L)	2	1	1 未満	1 未満	25 以下
溶存酸素量 (DO) (mg/L)	11	9.9	8.4	9.5	5 以上
大腸菌群数 (MPN/100ml)	920	5,400	5,400	3,500	5,000 未満
ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/L)	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	0.5 未満	-
全窒素 (mg/L)	0.57	0.38	0.33	0.25	-
全リン (mg/L)	0.011	0.011	0.013	0.024	-
フェノール類 (mg/L)	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	-
銅 (mg/L)	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	-
全亜鉛 (mg/L)	0.02	0.02 未満	0.02 未満	0.02	0.03 以下
溶解性鉄 (mg/L)	0.07	0.04	0.08	0.04	-
溶解性マンガン (mg/L)	0.02 未満	0.02	0.02 未満	0.02 未満	-
全クロム (mg/L)	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	-

※1 下流の可児川が指定されている B 類型の環境基準

※2 夏季の大腸菌群数は上下流域共に基準を超過した。要因として動物類の活動が活発化し、排出物が増加したことによるものと考えられる。

(4) 悪臭

各調査地点における悪臭調査結果は、表4に示すとおりでした。

表4 悪臭調査結果

項目	No.1 (北)		No.2 (南)		基準値
	冬季(2月)	夏季(8月)	冬季(2月)	夏季(8月)	
気温 (°C)	5.0	31.5	5.0	31.5	-
湿度 (%)	59	56	59	56	-
風向	不定	不定	不定	不定	-
風速 (m/s)	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	-
アンモニア (ppm)	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	1以下
硫化水素 (ppm)	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.02以下
メチルメルカプタン (ppm)	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.0005 未満	0.002以下
硫化メチル (ppm)	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.01以下
二硫化メチル (ppm)	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.009以下
トリメチルアミン (ppm)	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.005以下
アセトアルデヒド (ppm)	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.05以下
プロピオンアルデヒド (ppm)	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.05以下
ノルマルブチルアルデヒド (ppm)	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.009以下
イソブチルアルデヒド (ppm)	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.02以下
ノルマルパレルアルデヒド (ppm)	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.009以下
イソパレルアルデヒド (ppm)	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.003以下
イソブタノール (ppm)	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.9以下
酢酸エチル (ppm)	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	3以下
メチルイソブチルケトン (ppm)	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	1以下
トルエン (ppm)	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	10以下
ステレン (ppm)	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.4以下
キシレン (ppm)	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	1以下
プロピオン酸 (ppm)	0.003 未満	0.003 未満	0.003 未満	0.003 未満	0.03以下
ノルマル酪酸 (ppm)	0.0001 未満	0.0001 未満	0.0001 未満	0.0001 未満	0.002以下
ノルマル吉草酸 (ppm)	0.0001 未満	0.0001 未満	0.0001 未満	0.0001 未満	0.0009以下
イソ吉草酸 (ppm)	0.0001 未満	0.0001 未満	0.0001 未満	0.0001 未満	0.001以下
臭気濃度	10 未満	10 未満	10 未満	10 未満	10以下

(5) 景観

各調査地点からの眺望は、図2に示すとおりでした。

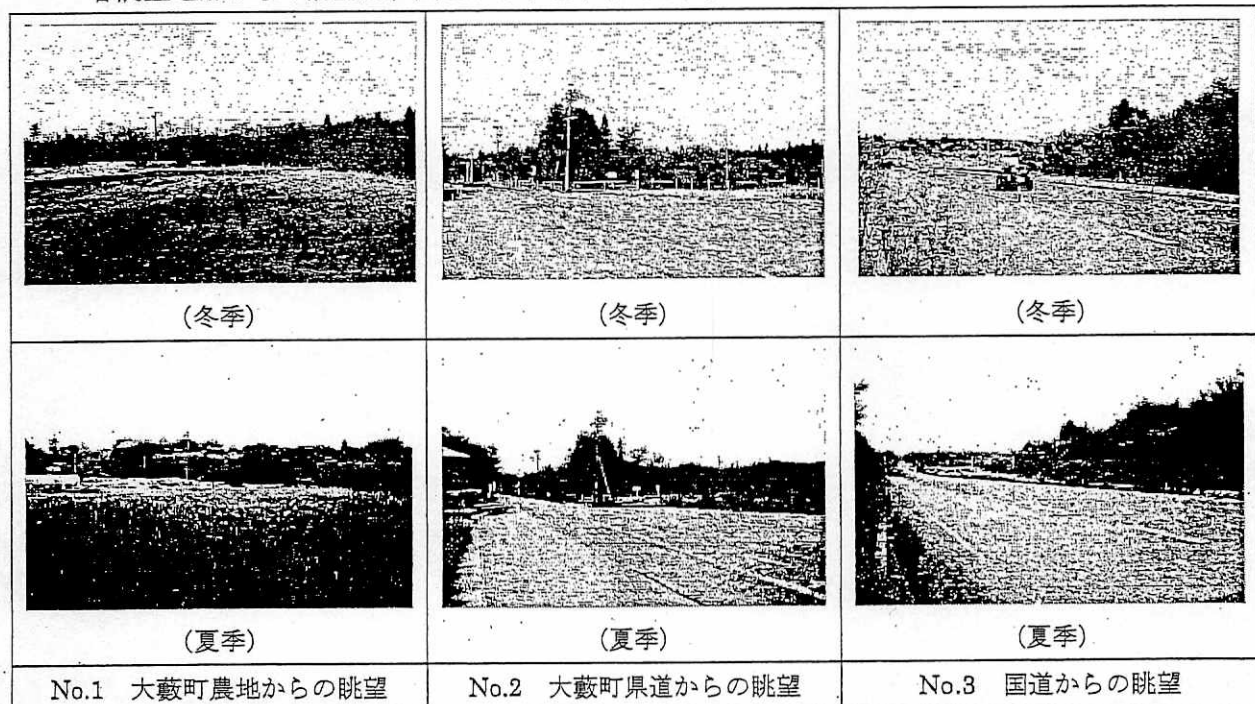


図2 景観の状況

多治見市 新火葬場建設に係る交通量結果

1 調査期間

【平日】

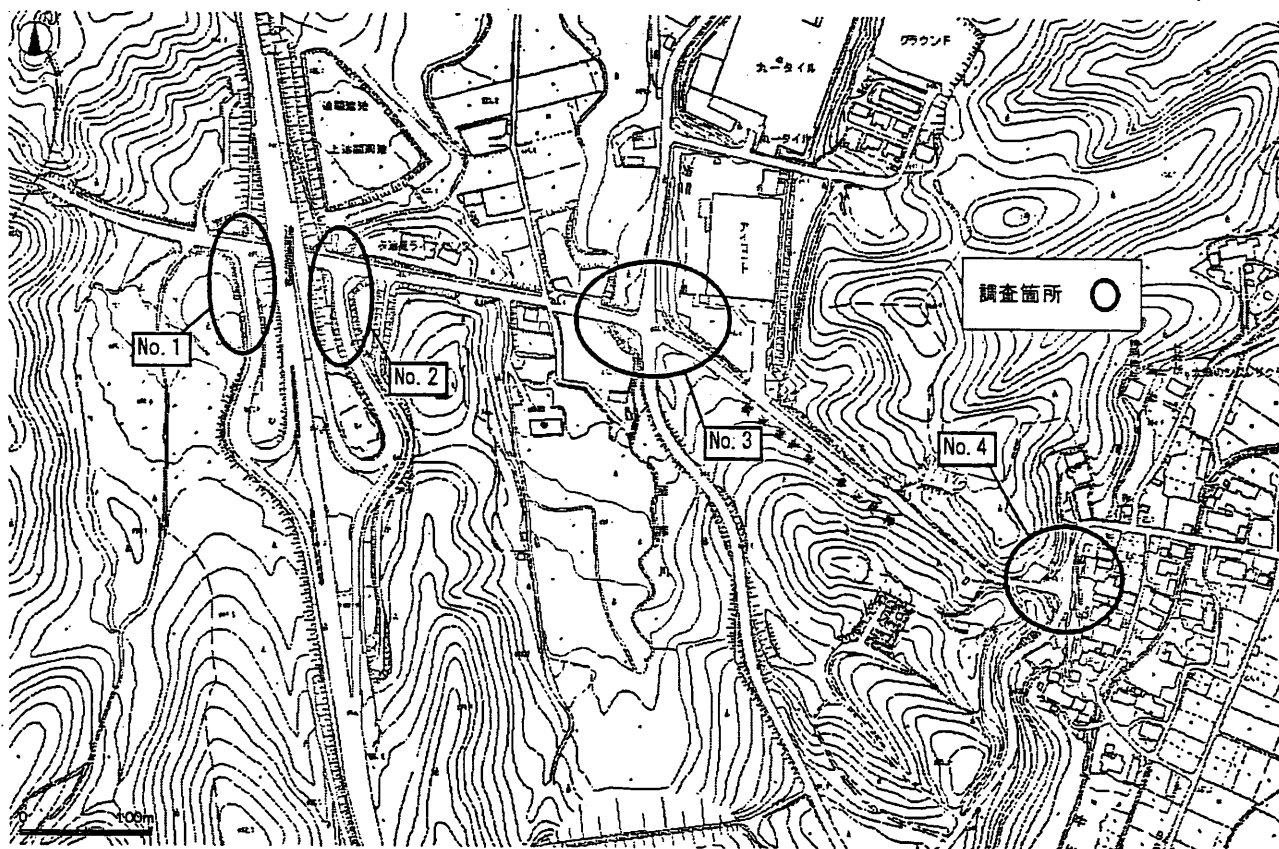
平成 24 年 11 月 7 日（水）～11 月 8 日（木）

【休日】

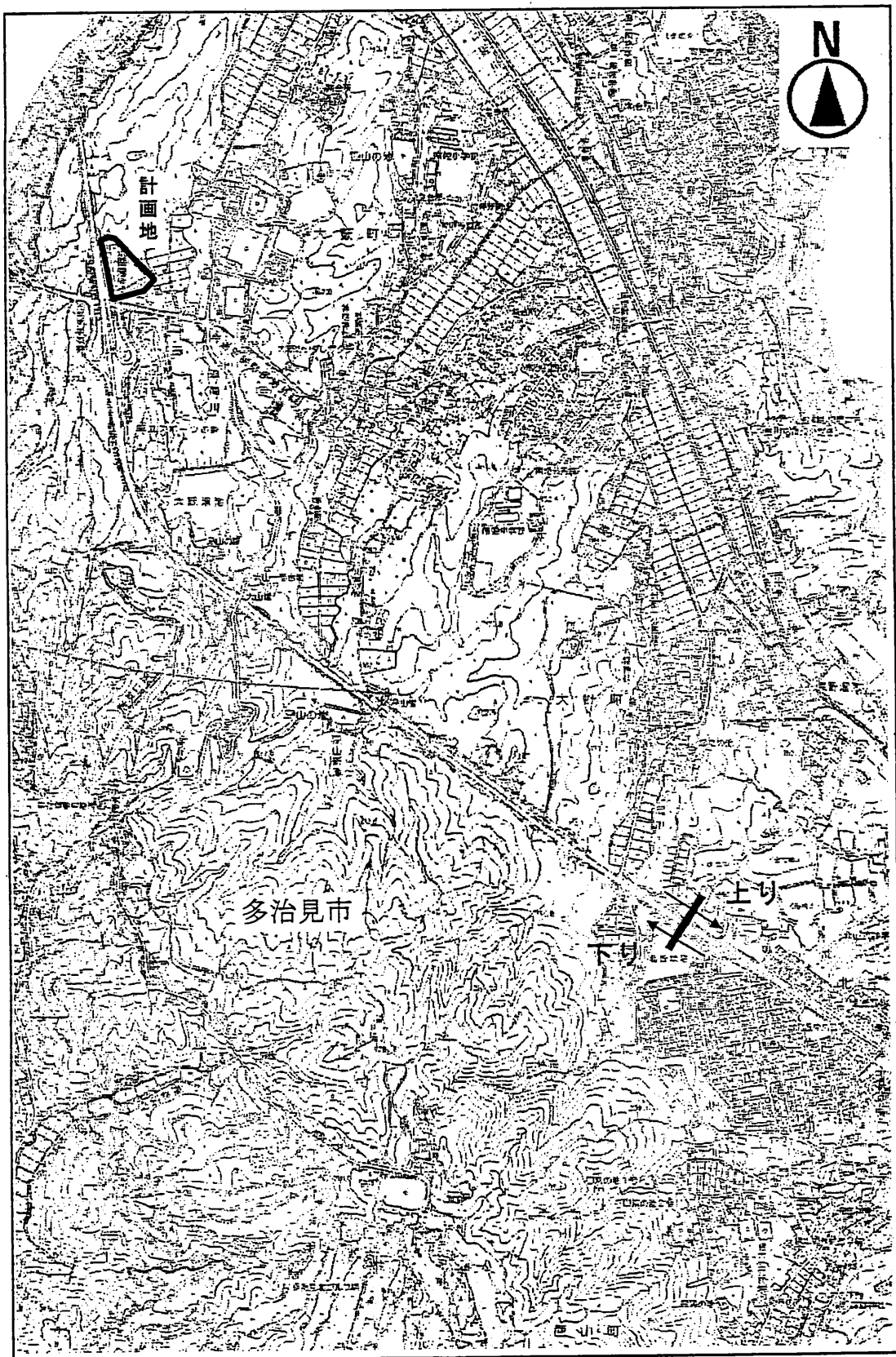
平成 24 年 11 月 18 日（日）～2 月 19 日（月）

2 調査場所

調査場所No.1～No.5 で実施しました。



調査地点図



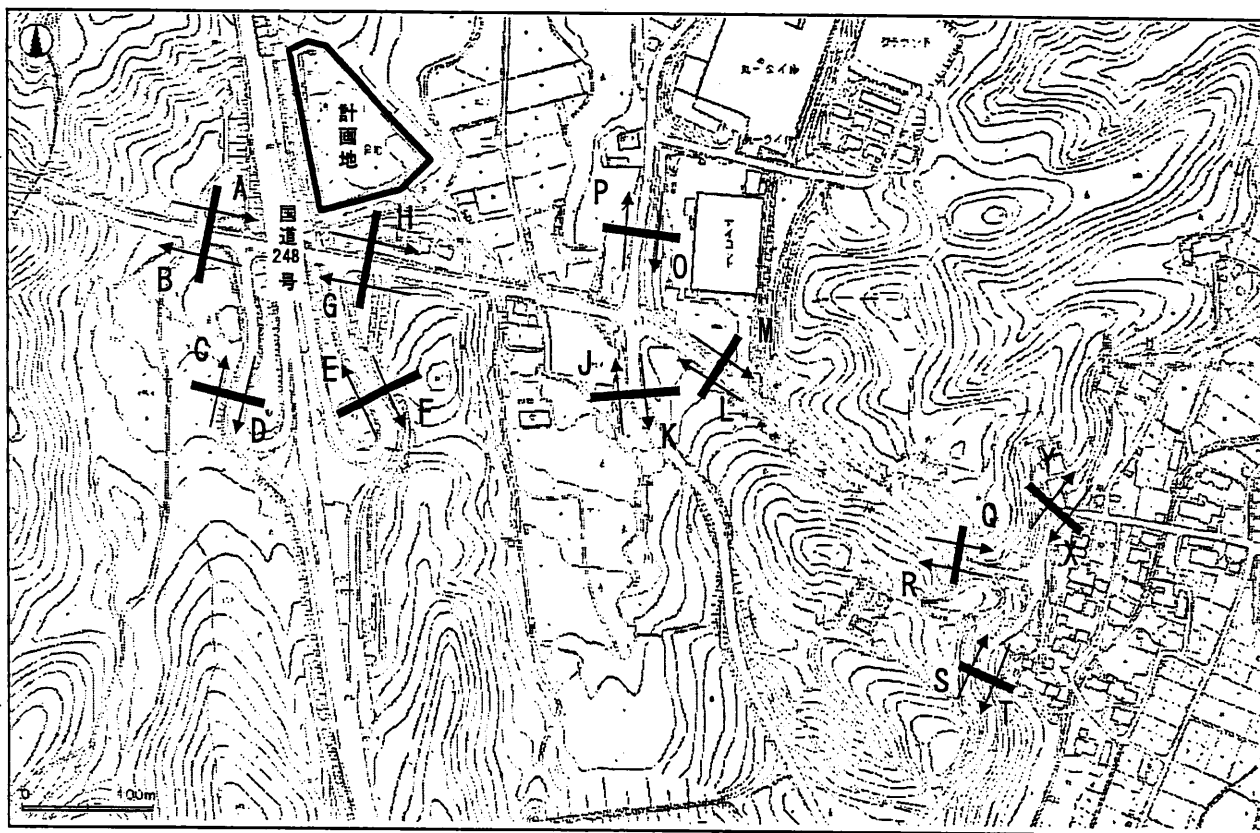
交通量調査断面模式図（調査地点 No.5）

3 調査結果

各調査地点に設定した調査断面ごとの交通量調査結果（断面合計）は、表1に示すとおりです。
 前回（平成24年2月8日・12日）とほぼ同程度の交通量で大きな差は認められませんでした。

表1 交通量調査結果

調査地点（断面）		昼間12時間交通量 （台）		24時間合計			
				交通量（台）		大型車混入率（％）	
		平日	休日	平日	休日	平日	休日
No.1	可児方面（AB）	2,730	1,895	3,515	2,484	7.6	3.6
	IC下ランプ（CD）	1,482	1,011	1,917	1,348	7.9	4.2
No.2	IC上ランプ（EF）	1,755	1,168	2,130	1,449	9.2	2.7
	矩方面（GH）	1,590	1,015	1,969	1,293	10.5	5.3
No.3	多北GC方面（JK）	435	359	485	403	4.3	0.0
	矩方面（LM）	684	422	868	569	3.6	3.3
	桜団地方面（OP）	783	348	971	477	17.4	11.1
No.4	可児方面（QR）	645	425	822	561	3.9	0.9
	深山の森方面（ST）	123	44	142	57	8.5	3.5
	矩方面（XY）	684	461	862	604	4.2	1.2
No.5	多治見北バイパス	16,425	14,675	21,564	19,235	11.4	3.7



交通量調査断面模式図

多治見市 新火葬場建設に伴う環境調査結果の概要（秋季調査）

（動物・植物）

1 調査期間・・・平成24年10月22日～11月30日の期間に実施しました。

2 調査結果

動植物調査を行った結果、新たに貴重種として「ヒメタイコウチ」と「トノサマガエル」が確認された。なお、従前の報告において「ヌマガヤ」についても貴重種としていたが、最新の指定からは外れたため記載していない。

鳥類：1種

- ・カイツブリ（岐阜県指定準絶滅危惧）

昆虫：1種

- ・ヒメタイコウチ（岐阜県指定絶滅危惧Ⅱ類）

植物：2種

- ・イヌセンブリ（環境省指定絶滅危惧Ⅱ類）
- ・ヘビノボラズ（岐阜県指定絶滅危惧Ⅱ類）

両生・爬虫類：1種

- ・トノサマガエル（環境省指定準絶滅危惧）

その他、ほ乳類、魚類及び底生動物では貴重種は確認されなかった。

○評価基準

（環境省指定）

- ・絶滅危惧Ⅱ類：絶滅の危険が増大している種
- ・準絶滅危惧：存続基盤が脆弱な種

（岐阜県指定）

- ・絶滅危惧Ⅱ類：県内において絶滅の危険が増大している種
- ・準絶滅危惧：県内において存続基盤が脆弱な種